

《担当者名》 長谷川 聡 (非) haseg@hoku-iryo-u.ac.jp

【概要】

言語発達の過程を理解した上で、これを阻害する言語障害発声発語障害などを理解する。言語障害の発達障害の中での位置づけ、言語障害児への訓練・治療、教育と福祉の目標と方法について学ぶ。

【学修目標】

- 1) 音声言語および言語発達の基本を理解するために、これを概説できる。
- 2) 言語障害の種類、症状、原因を理解するために、これを概説できる。
- 3) 言語障害、発声発語障害について理解するために、これを概説できる。
- 4) 言語障害児の教育と福祉について理解するために、これを概説できる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	オリエンテーション	シラバスと学修方法を説明できる 学生の個別学習ニーズを検討する	長谷川
2	音声と言語 1	音声言語活動 その基本事項と概要について検討する。	長谷川
3	音声と言語 2	呼吸・発声 呼吸器官・発声器官の解剖と発声機序について検討する。 構音 構音器官の解剖と構音機能の機序について検討する。	長谷川
4	音声と言語 3	聴覚 聴覚器官と聴覚の解剖と機序について検討する。	長谷川
5	音声と言語 4	大脳 大脳の解剖・機能と音声言語処理の機序について検討する。	長谷川
6	音声と言語 5	言語 その基本事項と言語学的本質について検討する。 日本語 その基本事項と特徴について検討する。	長谷川
7	言語発達 1	音声発達 その基本事項と発達過程について検討する。	長谷川
8	言語発達 2	言語発達 その基本事項と発達過程について検討する。	長谷川
9	言語発達 3	視覚言語 その基本的事項と獲得過程について検討する。	長谷川
10	言語障害 1	音声障害 その種類と概要、機序について検討する。	長谷川
11	言語障害 2	構音障害 その種類と概要、機序について検討する。	長谷川
12	言語障害 3	言語発達遅滞 その種類と概要、機序について検討する。	長谷川
13	言語障害 4	高次脳機能障害 その種類と概要、機序について検討する。	長谷川
14	言語障害 5	言語検査 その概要と方法および診断・評価について検討する。	長谷川
15	言語障害 6	言語障害児教育 その学習項目の全般について検討する。 言語障害児の福祉 その福祉サービス全般について検討する。	長谷川

【授業実施形態】

遠隔授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

中間レポート50%、期末レポート50%。

【教科書】

「入門講座・コミュニケーションの障害とその回復 第1巻 子どものコミュニケーション障害」笹沼 澄子（監修）、大石 敬子（編集） 大修館書店

「ダウン症の子どもがいきいきと育つことばとコミュニケーション 家族と専門家のための実践ガイドブック」リビー・クミン（著）梅村浄ほか（訳） メディカ出版

【参考書】

「入門講座・コミュニケーションの障害とその回復 第2巻 成人のコミュニケーション障害」笹沼 澄子（監修）、大石 敬子（編集） 大修館書店

「標準言語聴覚障害学 聴覚障害学」藤田郁代監修 医学書院

「特別支援教育における言語・コミュニケーション・読み書きに困難がある子どもの理解と支援」大伴潔・大井学編著 学苑社

「特別支援教育における構音障害のある子どもの理解と支援」加藤正子他編 学苑社

「特別支援教育における吃音・流暢性障害のある子どもへの理解と支援」小林宏明他編 学苑社

【学修の準備】

事前学習として指定教科書を音読通読して、特に教科書中の難読漢字を辞書を調べるなどしてふり仮名を振り「読める」ようにしておくこと（6-8時間程度）。

【免許法施行規則に定める科目区分等】

「特別支援教育に関する科目」（免許状に定められることとなる特別支援教育領域以外の領域に関する科目）

心身に障害のある幼児、児童又は生徒の心理、生理及び病理に関する科目

心身に障害のある幼児、児童又は生徒の教育課程および指導法に関する科目

中心となる領域：言語障害者

【実務経験】

長谷川聡(行政職員(福祉技術職))

【実務経験を活かした教育内容】

相談機関、医療機関等での実務経験を活かし、言語障害児の療育についてその発見、診断、個別教育・福祉プログラムの作成と実行に至る一連の流れと、いくつかの代表的な療育プログラムやコミュニケーション法について講義する。